

# 破天荒

教宣部

5071号

2019年  
9月19日

化学一般京滋地本  
全竹中労働組合



## 2019年度スタート 秋闘要求提出団交開催

先週、四六回目の定期大会が行われ、同時に秋闘要求案も採択されました。一八日の秋闘要求提出団交では十月三日の回答指定日には何らかの回答を行うことも確認しました。

### 協約の復活

組合活動のルールに対して現実に合わせた文書での復活を求めています。当時のことを知っているのは勤続三十年の社員だけとなりました。当時とは事業所や組織も異なり取消線の条項を読んでも何のことやらになっていきます。現在は労使慣行として運用し問題は発生していないと会社は言っています。当たり前ですがルールを伝達し、全員に浸透し、意識が高まり、結果と

してみんながそのルールを守るモラルの高い組織になることが目的です。

### 福利厚生

オプトでは参加者に対して旅行三万五千、忘年会七千の補助が派遣社員も含めて出されています。電子などでは旅行参加者に対して三万、不参加社員×三万を派遣も含めてピアパーティなどに充てています(こちらは繰越金があります)。今時三万の旅行では安いものとなつていきますのでオプトと同じ要求を行います。また今までの繰越金については医療費補助の原資に回すよう求めています。そして組合員を対象とした協定なので三社でのグループ旅行ができるよう要求しています。

### 休日増

一日の所定内時間を十五分延長する代わりにエンジンのような週休二日制にすることを要求しています。年一回、一月の展示会は土曜出勤。

### 退職金特別加算

現在、定年退職を迎えた人に対しては退職金+基準内賃金一カ月分が支給されていますが、長年の慰労という意味で増額を求めます。

### 時間単位年休

法では労使協定すれば五日分まで時間単位で年休がとれるようになっていきます。子育てや介護などに非常にありがたい制度なので要求します。

### 甲種社員の病欠

同一労働同一賃金に関するガイドラインでは有期雇用であっても不合理な待遇差を改善するよう会社に求

めています。主観的抽象的な説明ではなく客観的具体的な実態に合わせた合理的な説明が必要です。それができない不合理な待遇差は解消しなくてはなりません。

### 再雇用最賃

現在は五九歳基本給の六割以上で運用されているようですが会社は最低賃金を協定するのなら時給九二〇円、月額にして十四万二千もあり得るとしています。大人の契約として再雇用申請前に「最低これだけもらえろ」という金額を示すべきです。

### 一九九年度組合役員

- 執行委員長 稲岡 幸雄
- 副執行委員長 花田 尚久
- 書記長 川北 幸輝
- 会計 富田 常弘
- 執行委員 片山 勉
- 執行委員 北村 博則
- 執行委員 矢野 恵一
- 執行委員 西村 浩一郎
- 会計監査 柳川瀬 忠



### 天声竹語

「潰れる会社」の社長にはこんな共通点  
倒産する会社にはいくつかの共通点がある。たとえば黒字経営を続けていたり、銀行へのリスク要請や取引先への支払いサイト変更要請がなくても、「倒産リスクあり」と見なしたほうがいい場合がある。  
それは社長の様子を見ればわかる、といつても過言ではない。次のような傾向が見られる企業は「倒産リスクが高い」と考えられる。

- ・数字に弱い
- ・明確な経営理念やポリシーがない
- ・リーダーシップ、指導力に欠ける
- ・業界動向に疎く、商品知識に欠けている
- ・私生活において、よからぬ噂がある
- ・社長以外の実権者が存在する



### お知らせ

新入組合研修会  
10月11日(金)  
18:50 ~ 20:00  
労館4F第8会議室

